

事務事業評価シート

事業番号	9					
事業名	市民合同演奏会(音楽等振興事業費)	局名	企画市民局			
		部名	市民部			
事業開始年度	昭和57年度	課名	文化振興課			
根拠法令等	市補助金等に係る予算の執行に関する規則	課長名	田中俊和			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施					
	<input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金(補助先: 相模原市民合同演奏会実行委員会)					
	<input type="checkbox"/> その他()					
事業概要	目的 (何のために)	多くの市民に、合唱活動を通して音楽を学び、発表する機会を提供するとともに、音楽会を開催することにより、市民が芸術に触れる機会を提供し、本市の音楽振興に寄与することを目的とする。				
	対象 (誰・何を対象に)	対象 1 参加者 ・ 合唱⇒公募による合唱団(約150人) ・ 管弦楽⇒相模原市民交響楽団有志(約60人) 2 入場者(鑑賞者) ・ 最大収容人数1,656人(グリーンホール相模大野大ホールオーケストラピット使用)				
	事業内容 (手段・手法など)	1 概要 合唱団を公募し、約5ヶ月程度練習を行い演奏会を行うもの。合唱団員の募集及び育成を担当する市合唱連盟と管弦楽を担当する市民交響楽団の有志が実行委員会を結成し演奏会の計画から実施までを行っている。 2 実施時期 練習期間⇒約5ヶ月(練習回数は、約20回) 演奏会⇒基本的に毎年12月 3 負担金 参加者 一般6,000円、学生3,000円(平成23年度) 入場料 指定席2,500円、自由席2,000円 * 練習期間、参加者負担金は、その年の選曲によって異なる。 4 市予算 補助金 事業費補助 437,000円(平成23年度) 補助内容 演奏会当日の会場使用料1/2、指揮者謝礼1/2、 独唱者謝礼1/2、印刷費1/2 で予算の範囲内 練習の会場使用料 220,000円(平成23年度)				
	事業の必要性	市民合同演奏会は、昭和57年12月の「第九演奏会」を契機に、以降、毎年12月に、一般公募による合唱団と相模原市民交響楽団により、「第九」や「メサイア」を始めとする合唱の入るオーケストラ曲を演奏し、常に1,000人以上の観客を集めるなど市の重要な音楽振興事業となっている。 また、同演奏会は、合唱団員の募集から練習、育成を担当する市合唱連盟と管弦楽を担当する市民交響楽団の有志が実行委員会を結成し、事業を主催しており、計画から実施までを自主的に行っている。 同演奏会は、市民による演奏会の草分け的事業でもあり、合唱及び管弦楽は市民が担っており、事業を継続することで、本市の文化振興に寄与している事業である。				
コスト			平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
	事業費(直接経費)		704 千円	707 千円	657 千円	
	人件費	正規職員	従事者数	0.01 人	0.01 人	0.01 人
			概算人件費	75 千円	73 千円	73 千円
	人件費	嘱託職員・ 臨時職員等	従事者数	0 人	0 人	0 人
			概算人件費	0 千円	0 千円	0 千円
	人件費 合計		75 千円	73 千円	73 千円	
総事業費		779 千円	780 千円	730 千円		
市民一人あたりの事業費		0.00 千円	0.00 千円	0.00 千円		

		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
財源内訳	国・県支出金	0千円	0千円	0千円	
	受益者負担金	0千円	0千円	0千円	
	その他()	0千円	0千円	0千円	
	一般財源	704千円	707千円	657千円	
平成23年度 事業費の 主な内訳 (人件費を除く)	項目			金額	
	市民合同演奏会補助金			437千円	
	公共施設使用料			220千円	
				千円	
活動実績1	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	市民合同演奏会合唱団員数	人	135	130	169
単位当たりコスト1	(総事業費/活動指標)	千円	5.8	6.0	4.3
活動実績2	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	市民合同演奏会練習回数	回	23	22	21
単位当たりコスト2	(総事業費/活動指標)	千円	33.8	35.4	34.7
成果目標 (現状の成果及び 今後どのようにした いか、定量的な評 価で示す)	<p>1 現状の成果 演奏会入場者数 H22年度 1,196人、H21年度 1,272人 会場グリーンホール相模大野大ホール(定員1,656人)</p> <p>2 今後 演奏会入場者数を更に増やして行きたい。</p>				
成果実績	成果指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	演奏会入場者数	人	1,272	1,196	1,300
	演奏会へ初めて入場した人の割合(アンケート結果)	%	25.6	30.2	32.8
特記事項 (事業の沿革等)					
事業の自己評価 (今後の事業の方 向性、課題等)	<p>市民合同演奏会は、幅広く市民に文化活動への参加及び文化芸術の鑑賞機会を提供する事業として概ね目的を果たしていると考えられる。</p> <p>また、演奏会を開催するため、各実行委員がそれぞれの持てる能力を駆使し、自主的に事業を運営している点は評価できる。</p> <p>今後は、演奏会入場者数を更に増やすため、事業の周知を図るとともにアンケート結果等をもとに検証したい。</p>				
評 価	《評価の視点》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない ・ 有効性 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない ・ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない 			
	《評価の区分》	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 再構築 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡充			
	《評価区分の理由》	<p>市民自らが文化振興の場と機会を提供する役割を果たしている。今後は、より多くの市民参加を促すことにより、いっそうの事業の自立化に向けた検討を行うこととする。</p>			
H24年度 予算への反映					
経営評価委員会 による意見	<p>○見直し 市民参加型の文化振興活動として評価できる。実質的には、参加者等の負担で事業が実施されていることから、更なる工夫を行い、自立化を検討すべきである。</p>				